

皆が笑顔になる、「フェアトレード」便り No.39 田中惣一商店 2026.2.1

「フェアトレード」「フェアトレードタウン」と「エシカル」など情報発信。

<秋冬限定・フェアトレードチョコレート・入荷>「皆が笑顔になるフェアトレードチョコレート」。美味しいですね。バレンタイン用、自分へのご褒美にもいかがですか？

☆「フェアトレードチョコレート試食会」2月8日（日）AM10：00～田中惣一商店にて。約20種類のチョコレートを試食できます。今年は日本人でフィリピンでカカオ農家をしている大樹さんから送られたこだわりのチョコレートも皆さんとご一緒に。要TEL予約。

<毎月11日「イオン、幸せの黄色いレシートキャンペーン」です。よろしくお願いします。>

<ビーチクリーンボランティアネットワーク><まるごみ>にも無理なく、参加してね。

<和綿プロジェクト>1月9日に和綿を9kg、「メイドインアース」さんへお送りしました。種から育てた和綿がTシャツやハンカチになります。お楽しみに！！今年5月には第6回「和綿プロジェクト」始まります。4月頃、「和綿の種」皆様へお配りできるよう、ご用意します。SNSや店頭で、チェックして下さいね。SDGsの12の「つくる責任つかう責任」サプライチェーンにも合致しますね。

・・・1月31日の「朝日新聞」SDGs13版で「フェアトレードの輪を広げるには」の記事。SDGsの17目標すべてに関係する取組です。気候変動の影響で生産者を取り巻く状況が悪化するなか、フェアトレードをひろげようとする動きが記事。昨年、11月フェアトレードラベルジャパンでのイベントの中で、メキシコ南部チアパス州にあるサンフェルナンド協同組合のコーヒー農家（約800軒参加）の代表、シルビア・エレラさんが来日。フェアトレードは最低価格が保証され、製品を扱う企業が支払うプレミアム（奨励金）を使い、必要な対策を打てる。その報奨金を使い、日陰をつくる植物や根をはる力が強い植物の混植を進め、コーヒー以外の作物を有機農業で栽培することにも始めている。独自の奨学金制度も作ったそうです。気候変動を嘆くのではなく、適応しようとしている。品質の高いコーヒー豆を育て、医療や教育の状況も良くしたい。フェアトレードは生産者にチャンスを与えるシステム。と日本の人たちに向けてスピーチ。FLJ（フェアトレードラベルジャパン）によると、2024年の日本のフェアトレードの1人当たりの年間購入額は174円。スイスは19260円（日本の111倍）ドイツも市場規模は日本の22倍もある。（人口は日本の三分の二）企業での取り組みとして「フェアトレード・ワークプレイス登録制度があります。（無料で登録可）登録マークにより企業の社内外での普及拡大への貢献が見える化できる。大日本印刷では来局用のコーヒーをフェアトレードにしました。他に日本郵船豊田通商15社・団体が登録。***フェアトレードタウンでも町ぐるみでの活動は地域の活性化への貢献にもなります。館山フェアトレードタウン推進委員会では、「ビーチクリーン」「和綿プロジェクト」「地産地消（ふぐも）」「音楽応援」等で貢献しています！！タウンを実現しましょう！！

館山をくフェアトレードタウンに！>フェアトレードを通じて、人や地球環境、社会、地域に根差した みんなが笑顔でいられる町づくりで 自然豊かな館山の魅力をさらに高めましょう。